

わかちこ「ちょっと待ってください！あつ、ここで何やら緊急速報が入ってきました！街で何者かが暴れ回っているようです！」  
現場には末柄キャスターが向かってくれているということです！末柄キャスター！」  
すーじー「はい現場の末柄です。私は今都内某所に来ております。こちらで不審な人物の目撃情報があつたんですが…はっ！」  
皆さん！あちらを見てください！」  
みつく「ふえーーあなたたちにするんですかーだれかたすけてください！」  
あべりかさん「あらあらまあまあ、とびきりかわいこちゃん見つけちゃった！美味しそう～♪」  
みつく「美味しそう…美味しそう…？」  
あべりかさん「これは…世界征服に一步近づけそうな予感ね！」  
ゆりりん「なあんびとたりとも～！我らデストルドーには歯向かうことはできないのだー！」  
ハッハッハッ  
みつく「ふえええええん」  
すーじー「大変です！今まさに女性が襲われています！」  
あべりかさん「おやおやおや？ちょっとちょっと！あっちに、清楚美人がいない！？」  
ゆりりん「激マブなお姉さん！！」  
あべりかさん「いっちまいな！」  
(すーじーの悲鳴とみつくの鳴き声)  
あべりかさん「いらっしゃーい！」  
みつく「わたしたちをどうする気ですか～！」  
あべりかさん「お前達は、我々デストルドーの人質となつてもらう」  
みつく「人質～？」  
ゆりりん「そうだ！お前達を人質に取り！お前達は我々の手足となつてもらうのだ！」  
あべりかさん「そうね！まずは手始めに、ハッシュタグ集えアイドルヒーローズを付けて沢山ポストして～、トレンド一位にしてもらうかな」  
すーじー「そうですね！とっても大切です！トレンド一位にはしてほしいんですけど、でも無理矢理やらせるなんてひどすぎます！」  
みつく「そうだそうだ～！でも大丈夫！デストルドーなんて、アイドルヒーローズがやつつけちやうんだから！」  
すーじー「わー！」あべりかさん「いやん」  
みつく「すーじーさん！一緒にアイドルヒーローズを呼びましょう！」  
すーじー「そうね！」みつく「せーの！」  
みつく・すーじー「たすけて！アイドルヒーローズーー！！！」  
わかちこ「みなさま、恒例の寸劇…いかがでしたでしょうか？」

「ちょっと待ってください！あつ、ここで何やら緊急速報が入ってきました！街で何者かが暴れ回っているようです！現場には末柄キャスターが向かってくれているということです！末柄キャスター！」  
「はい現場の末柄です。私は今都内某所に来ております。こちらで不審な人物の目撃情報があつたんですが…はっ！皆さん！あちらを見てください！」  
「ふえーーあなたたちにするんですかーだれかたすけてください！」  
「あらあらまあまあ、とびきりかわいこちゃん見つけちゃった！美味しそう～♪」  
「美味しそう…美味しそう…？」  
「これは…世界征服に一步近づけそうな予感ね！」  
「なあんびとたりとも～！我らデストルドーには歯向かうことはできないのだー！ハッハッハッ」  
「ふえええええん」  
「大変です！今まさに女性が襲われています！」  
「おやおやおや？ちょっとちょっと！あっちに、清楚美人がいない！？」  
「激マブなお姉さん！！」  
「いっちまいな！」  
(すーじーの悲鳴とみつくの鳴き声)  
「いらっしゃーい！」  
「わたしたちをどうする気ですか～！」  
「お前達は、我々デストルドーの人質となつてもらう」

「人質～？」

「そうだ！お前達を人質に取り！お前達は我々の手足となつてもらうのだ！」

「そうね！まずは手始めに、ハッシュタグ集えアイドルヒーローズを付けて沢山ポストして～、トレンド一位にしてもらおうかな」

「そうですね！とっても大切です！トレンド一位にはしてほしいんですけど、でも無理矢理やらせるなんてひどすぎます！」

「そうだそうだ～！でも大丈夫！デストルドーなんて、アイドルヒーローズがやっつけちゃうんだから！」

「わー！」 「いやん」

「すーじーさん！一緒にアイドルヒーローズを呼びましょう！」

「そうね！」 「せーの！」

「たすけて！アイドルヒーローズ——！！！」

「みなさま、恒例の寸劇…いかがでしたでしょうか？」